

令和6年11月

No.190

おくしり



議会だより

はたらく車 大集合!!

9月15日、町内の事業所をはじめ、自衛隊や警察、消防署などで使用されている車両を一堂に集めたイベント「はたらく車大集合」が行われ、関係者含め約200名の町民が来場しました。

各車両は試乗体験ができ、多くの子どもたちが車両に乗り込み、記念撮影や建設車両の一部を実際に動かすなど、普段できない貴重な体験に喜んでいました。

- 令和6年第3回定例会…条例改正、各会計補正予算など
一般質問：井口 和広 議員 制野 征男 議員
- 総務産業常任委員会…事務調査：住民課・産業振興課
- 議会運営委員会・奥尻町議会のうごき

第3回奥尻町議会定例会



令和6年9月3日に開会された「第3回奥尻町議会定例会」で次の事項について審議し、いずれも原案どおり可決されました。

報告

●令和5年度健全化判断比率の報告

実質公債費比率は、8・2%であり、早期健全化基準の25%を下回っており、良好な状態であると認められ、また、将来負担比率は、庁舎建設が主による地方債が多額になったことにより54・6%と前年の8・4%から増となり、早期健全化基準の350%と比較するとこれを下回っています。が、監査委員からは、将来負担比率の悪化を防ぐため、抜本的な事業の見直しなどの検討を進めていただきたいとの意見があった、との報告がありました。

●令和5年度資金不足比率の報告

国民健康保険病院事業会計、簡易水道事業特別会計、

港湾施設用地造成事業特別会計、公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計について、それぞれ資金不足比率が発生していないことから、現在のところ経営は良好であると認められるとの報告がありました。

専決処分

●令和6年度奥尻町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1589万1千円を追加し、歳入歳出予算総額を49億4398万9千円としました。

●令和6年度奥尻町一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ100万円を追加し、歳入歳出予算総額を49億498万9千円としました。

おくしり議会だより

(3)

●令和6年度奥尻町一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ21万5千円を追加し、歳入歳出予算総額を49億4520万4千円としました。

道支出金

3万1千円

繰入金

△2億1049万9千円

繰越金

1億5552万円

諸収入

258万3千円

町債

△14万5千円

補正予算
(一般会計)

●令和6年度奥尻町一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億7797万5千円を追加し、歳入歳出予算総額を51億2317万9千円としました。
補正内容及び補正額は次のとおりです。

〔歳出〕

総務費

306万2千円

民生費

△552万4千円

衛生費

1億84万3千円

農林水産業費

2万2千円

消防費

△192万3千円

教育費

44万6千円

諸支出金

8104万9千円

地方特例交付金

961万円

地方交付税

2億2087万5千円

補正予算
(特別会計)

●令和6年度奥尻町バス交運事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ423万2千円を追加し、歳入歳出予算総額を7084万2千円としました。

それぞれ69万9千円を減額し、歳入歳出予算総額を3億8159万円としました。

●令和6年度奥尻町漁業集落排水事業会計補正予算(第2号)

収益的支出に31万6千円を追加し、総額5626万3千円としました。

●令和6年度奥尻町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1656万7千円を追加し、歳入歳出予算総額を3億1202万9千円としました。

●令和6年度奥尻町国民健康保険病院事業会計補正予算(第3号)

収益的収入に1億円を追加し、総額6億7145万7千円としました。

条例

●令和6年度奥尻町自動車整備工場事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ111万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を8494万2千円としました。

●令和6年度奥尻町簡易水道事業会計補正予算(第2号)

収益的支出に149万9千円を追加し、総額7746万2千円としました。

●令和6年度奥尻町公共下水道事業会計補正予算(第2号)

収益的支出から4万9千円を減額し、総額9655万2千円としました。

●災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

災害弔慰金等の支給に関する規定を設けるため、本条例の一部を改正しました。

●令和6年度奥尻町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額から

人事

●委員会の委員等の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

災害弔慰金支給審査委員
会委員の報酬を定めるため、
本条例の一部を改正しまし
た。

●奥尻町国民健康保険条例の一部を改正する条例

行政手続きにおける特定
の個人を識別するための番
号の利用等に関する法律等
の一部を改正する法律が施
行されることに伴い、本条
例の一部を改正しました。

●奥尻町婦人健康診査実施
条例を廃止する条例

本条例の定める健康診査
について、現在実施してい
る特定健康診査、その他の
検診により充足されている
ことから、本条例を制定し
ました。

●奥尻町教育委員会教育長
の任命

任期満了に伴う奥尻町教
育委員会教育長の任命につ
いて、次の方を任命するこ
とに同意しました。

新谷 順二 氏

任期 令和6年10月23日
～令和9年10月22日

●奥尻町教育委員会委員の
任命

任期満了に伴う奥尻町教
育委員会の委員の任命につ
いて、次の方を任命するこ
とに同意しました。

津山 智代 氏

任期 令和6年10月1日
～令和10年9月30日

●奥尻町固定資産評価審査
委員会委員の選任

任期満了に伴う奥尻町固
定資産評価審査委員会の委
員の選任について、次の方
を選任することに同意しま
した。

佐藤 仁 氏

任期 令和6年10月1日
～令和9年9月30日

意見書を 提出しました

次の意見書を関係機関に
提出しました。

●ゼロカーボン北海道の実
現に資する森林・林業・木
材産業施策の充実・強化を
求める意見書

●国土強靱化に資する社会
資本整備等に関する意見書

議員派遣

次のとおり議員を派遣し
ます。

●航空自衛隊三沢基地航空
祭（9月7日～9日・青森
県）

目的 祝賀のため
派遣議員 寅尾 裕志 議員

●渡島檜山町村議会議員研
修会及び行政視察（10月10
日～11日・北斗市・森町）

目的 議員の知識の高揚に
資するため
派遣議員 全員

議会運営委員会

8月30日

9月3日に開会する第3
回定例会の議事運営につい

て審議し、会期は3日間と
し、令和5年度の決算審査
については、決算審査特別
委員会に付託し、審議する
こととしました。

また、各団体から要請さ
れていた意見書は、内容を
精査し、2件提案すること
などを決定しました。

9月4日

9月4日の決算審査特別
委員会が予定より早く終わ
ったため、5日予定の本会
議を4日に繰り上げること
を決定しました。

9月30日

9月30日に開会する第1
回臨時会の議事運営につい
て審議し、会期は1日間と
することに決定しました。



一 般 質 問

令和6年9月3日に「第3回奥尻町議会定例会」が開会され、2名の議員から一般質問がありましたので、その質疑応答の概要について紹介します。

井口 いぐち
かずひろ
和広 議員



フェリー分社化に 対する町の見解を

質 問

ハートランドフェリーが10月1日から分社化され、奥尻〜江差航路は「オクシリア일랜드フェリー株式会社」となり、本社所在地は奥尻町に置かれます。経営体制移行の目的として、「地域に根差した経営」、「意思決定の迅速化」、「組織運営の合理化」による利益率の向上」が挙げられております。また、令和7年度のフェリーダイヤの申請時期にも

なっていることから、次の点について伺います。
1、経営体制移行の目的、3点について町としての意見を伺います。
2、令和7年度のフェリーダイヤの進捗状況を伺います。

町と連携、利便性 向上を期待

町長答弁

1、分社化を行うことにより、会社全体の決算だったものが、補助期間と同様の10月から9月までの決算となりこれまで以上に明確になること。
また、本社を当町に置くことにより、これまで以上に町と連携した経営が行われ、町民の利便性を向上させることが期待しているところでです。
2、1便体制時のダイヤは

利便性が良いと言える状況ではないことから、離島航路確保対策協議会において江差発の時刻を13時に変更することで合意を得て、運輸局へ申請しているところです。

なお、9月から江差発のダイヤも13時に変更し、土日と3連休の8日間を実証運行として2便体制を運航するように変更されています。

てほしいなどの声もあり、それぞれの立場の要望を聞くこと難しい部分はありますが、町にとってはフェリー同様に大事な交通手段となっております。

これからは、冬期間の搭乗率増への取組も大事ではないかと思いい、次の点について伺います。
1、今年4月から8月末までの搭乗率の前年度の比較について伺います。

2、町として、現在の運行体系を継続への考えを伺います。

3、フェリーの復路無料キャンペーンを行っていることが、同様の企画を航空機利用者に対して行う考えがあるか伺います。

航空機利用者の キャンペーンを

質 問

HAC（北海道エアシステム）により、奥尻〜丘珠間の曜日運行がなされ、3年が経過しておりますが、町民からは、奥尻〜函館便を毎日運航してほしいとの意見や、観光客からは、奥尻〜丘珠便をもっと増やし



事業効果と内容を精査したい

町長答弁

1、8月20日までの利用実績は、函館便、丘珠便を合わせて6293人となっており、欠航が多かったことから、昨年の6885人から592人の減となっています。

2、町民、観光客ともに利便性を向上させることは必要と認識していますが、奥尻〜函館線は補助路線でも

あるため、経営の改善を推進することも求められています。

島内の観光客受入れ体制を強化することを進めながら、国や北海道などと協議をしていく必要があると考えています。

3、航空機で同様のキャンペーンを行った場合、1人当たりの補助単価が割高となり、相応の町負担も生じるため、事業効果と内容を精査しながら利用者増に向けた取組を推進していきたいと考えています。



奥尻と函館、札幌を結ぶHAC機



制野 征男 議員



職員採用の諸問題

質問

社会人経験者の採用は正規の職員としての公募により、特定の職種は会計年度任用職員としての公募ですが、長年、会計年度任用職員の職務についても正規職員にしない事例は不平等であり、解消が必要と考えます。

と、どのような条件だったかを伺います。

3、町議会における会計年度任用職員の正規職員化についての受け止め方を改めて問います。

4、会計年度任用職員の正規職員への採用条件は定められているのですか。

正職員化を慎重に検討

町長答弁

1、会計年度任用職員の制度は令和2年度からスタートし、令和6年8月末現在で、平均勤続年数は、男性3・4年、女性3・1年となっており。

2、専門職では、令和5年度に会計年度任用職員から正職員として採用された職員は看護師1名、医療事務1名であり、令和6年度は幼稚園教諭2名、薬局助手

1名で、それぞれ資格要件付きで公募の上、採用されました。

また、一般行政職では令和6年度に1名を公募で採用しております。

3、現在雇用している会計年度任用職員は病院、バス、空港、学校など、当町の行政サービスを行うためには、無くてはならない大切な戦力であると認識しております。

また、令和2年第4回定例会の「会計年度任用職員の正職員化を求める決議」についても重く受け止めており、会計年度任用職員を雇用することで、適切な行政サービスの提供と行政コストの抑制の両立を図ってきたところであります。

地方公務員法及び総務省のマニュアルから、現在、在職している会計年度任用職員を優先的に正職員にすることは難しいと考えます。

現在、会計年度任用職員が担っているポジションを正職員が担うポジションとして配置することで、公募により正職員とすることは可能ではありますが、行政コストと職のあり方の観点から正職員化に対して社会情勢を鑑み慎重に検討しております。

4、会計年度任用職員が正職員になるためには、公募により採用試験を受験し合格することが、採用の条件となります。

海岸における ごみ除去問題

質問

自然に恵まれている奥尻島に相応しいとは言えない海岸の大型ごみは、観光シーズン前に毎年除去すべきですが、その対応について確認します。

1、海岸の大型ごみの散乱実態における認識を問います。

2、大型ごみ除去に対応する補助制度の活用を聞きま

3、補助制度の活用を待たずに対応する意思はありますか。

4、毎年、観光シーズン前に実態を把握し、除去する体制をとるべきではありませんか。

制度活用は可能 処分場に懸念

町長答弁

1、島の海岸へは海外からのゴミ漂着も多くみられ、その他にもドラム缶、大きな発泡スチロールのような大型ごみがあることは認識しております。

2、大型ごみと限定した補助制度ではありませんが、

海に漂流、漂着した流木等を回収、処理するため、水産庁や環境省、北海道において漂流、漂着の場所や対象とする区域、支援対象者などによって補助率2分の1から10分の9といった支援制度があり、これらの制度の活用は可能なものと考えております。

3、大型ごみを回収した場合の処分方法は、町内の一般廃棄物最終処分場に処分することとなります。

最終処分場は、昨年より新たに供用開始されていますが、通常の処分計画に基づき収容量を決め整備されており、計画外となる海岸に漂着した大型ごみを処分することで施設の短命化につながり、次期処分場の整備に多額の整備費用を生じ、住民負担を強いることを懸念しています。

4、毎年、東風泊海岸や賽の河原周辺の観光美化清掃

として委託し、観光シーズン前に清掃をしています。島の海岸線全域の清掃は厳しいと思われ、4月にクリーンアップ作戦と合わせて海岸清掃をしており、今後は清掃箇所を広げていきたいと思います。

幼稚園建替計画の 進行状況は

質問

奥尻幼稚園の建替え問題について、検討委員会での答申が出されていますが、建替え計画における具体的な進行について問います。

1、検討委員会における答申内容の報告を求めます。

2、検討委員会の答申に沿う、建替えの方向での財源計画は立てられていますか。

3、答申に沿う建設場所、今後の幼稚園のあり方についての具体的な方向付けに

おける現状について報告を求めます。

4、具体的な建設年度について報告は可能ですか。

方向性について 検討中

町長答弁

1、今年1月30日に、奥尻町子育て施設あり方検討委員会より、子育て環境の充実のため、認定こども園が必要と判断。幼稚園の適正規模や適正配置についても奥尻・青苗の統合が望ましいとの判断であるとの答申に基づき、2月20日の総合教育会議において、奥尻幼稚園を建替え、職員を集約し、その機能と役割を最大限に発揮するため、幼保連携型認定こども園として整備することが町側へ要望されております。

2、4、総合教育会議での

要望を受け、5月に町行政改革検討委員会を開催し、検討されたところですが、認定こども園、公立幼稚園の建替えなど、どの方式を導入するかについて庁内の検討のみでは結論を見出すことが困難であるとの判断により、コンサルタント会社へ委託し、その報告内容に基づき建替えの方向性について決定する予定として

医師確保の 展望は

質問

自治医大出身の医師の派遣が1年に限定されていますが、延長への対策や、その後の医師確保における展望について問います。

常に医師確保の課題が離島にはつきまといますが、具体策として北海道にお

る独自の医師確保対策が必要なので町長の見解を聞きます。

1、自治医大出身の医師が1年の勤務と聞いていますが、延長の方法はないのですか。

2、離任後の医師確保の展望を聞きます。

3、離島における医師確保対策は厳しい現状にあり、少なくとも北海道独自の医師確保対策が必要で、その認識について問います。

4、岩手、宮城県では3千万円を医師確保対策として奨学金の交付を講じています。

町村会、離島振興協議会などを通じた、北海道としての独自対策による医師確保について、要請活動を強めるべきではないでしょうか。



道、各自治体と 連携を図る

町長答弁

1、北海道からの派遣は年度単位となり、派遣を受けている病院は、可能な限り自前での医師確保に努めるという原則のもと、北海道が年度ごとに要望のあった病院等の現状を調査し、派遣が決定されます。

当町への派遣が決定となった理由は、離島唯一の病院において、常勤医1名では医療体制の維持が困難であると理由が認められ、新たな常勤医を自前で確保できない限り、派遣打ち切りとはならないと考えています。

2、令和7年度から当町で勤務する医師確保に向け、これまで国保病院に勤務した経験のある70名ほどの研修医の中でも優秀な医師に

的を絞りリクルート活動を展開しています。

3、北海道では、自治医大卒業後の医師の派遣、北海道医療確保計画に基づく各種医師確保対策を推進していますが、北海道の政策だけでは、国の制度の問題もあり、医師確保の解決には至っていない現状です。

4、北海道町村会では、国に対し、医師不足と地域偏在、病院経営の深刻化等の諸問題克服のため、実効性のある対策を早急に講じるよう求め、当町としても現状や課題を報告し、要望事項を共有したところです。

今後も、離島という特殊事情を理解いただき、永続的に医療提供体制を維持するため、北海道や国に対する要望、要請活動を継続するとともに、各自治体、関係機関と連携を図り、諸問題解決に向け取り組んでまいります。

お願い

議長宛の文書や案内状などは、議長の公務日程上の調整をする必要がありますので、議長の私宅に送付しないで、直接、議会事務局に差出人等を明記のうえ、送付してください。

なお、期日、期限等があるものについては、早めにお願います。

◇送付先 奥尻町字奥尻 806 番地 奥尻町議会議長 宛

議会は町政と皆さんの茶の間をつなぐパイプです。

議会を傍聴しませんか

☆次回定例会 12月上旬の予定です☆

(9)

おくしり議会だより

令和5年度奥尻町一般会計・各特別会計決算の認定審査については、監査委員を除く7名の議員で構成する「決算審査特別委員会」（委員長・制野征男）に付託され、9月4日に同委員会が開会しました。

審議の結果、付託された令和5年度各会計決算は、原案のとおり認定することと決定し、本会議において委員長報告がされ、各会計決算はすべて全員一致で原案どおり認定されました。

令和5年度決算

決算審査特別委員会に付託

9月4日開会
原案のとおり認定



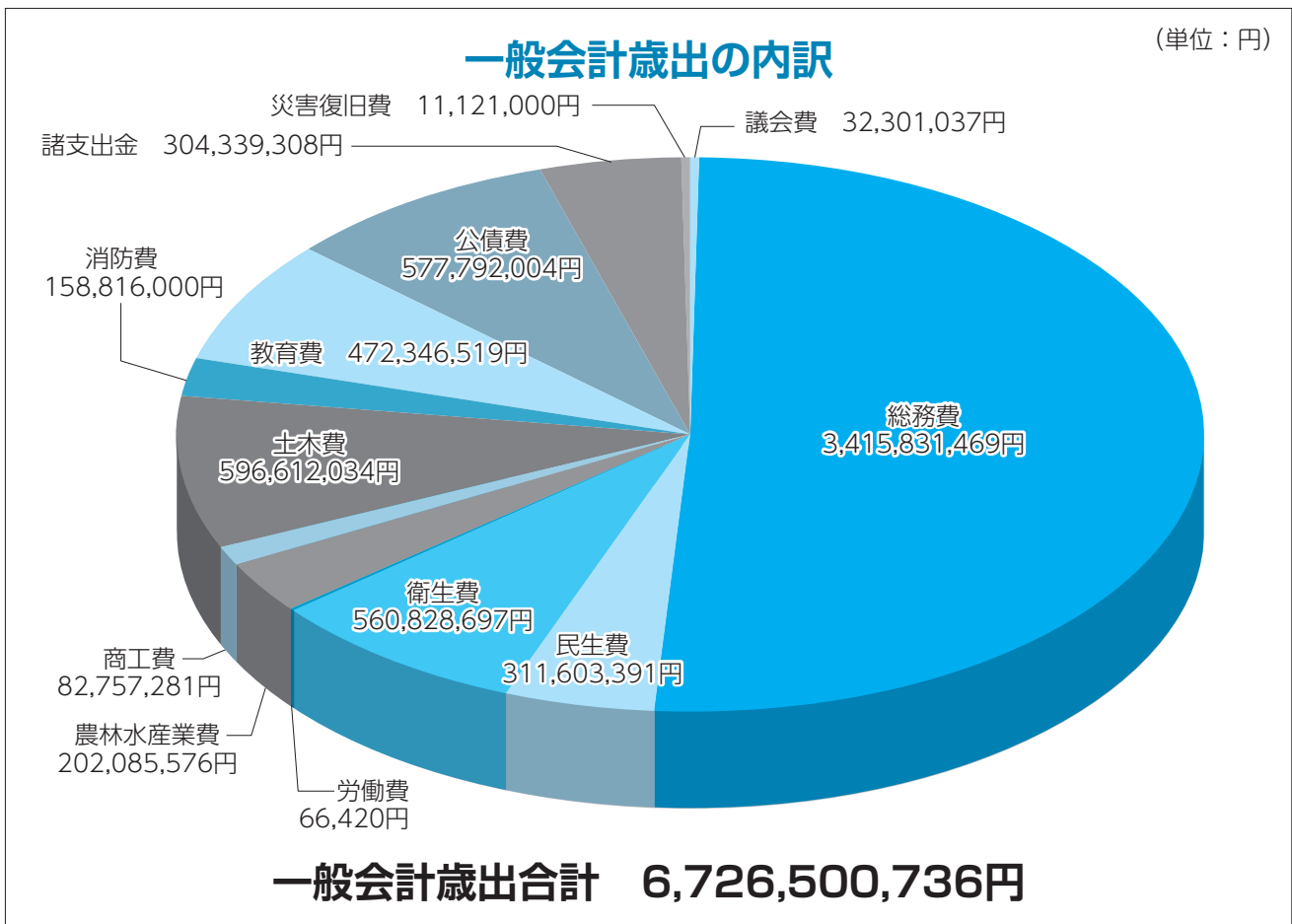
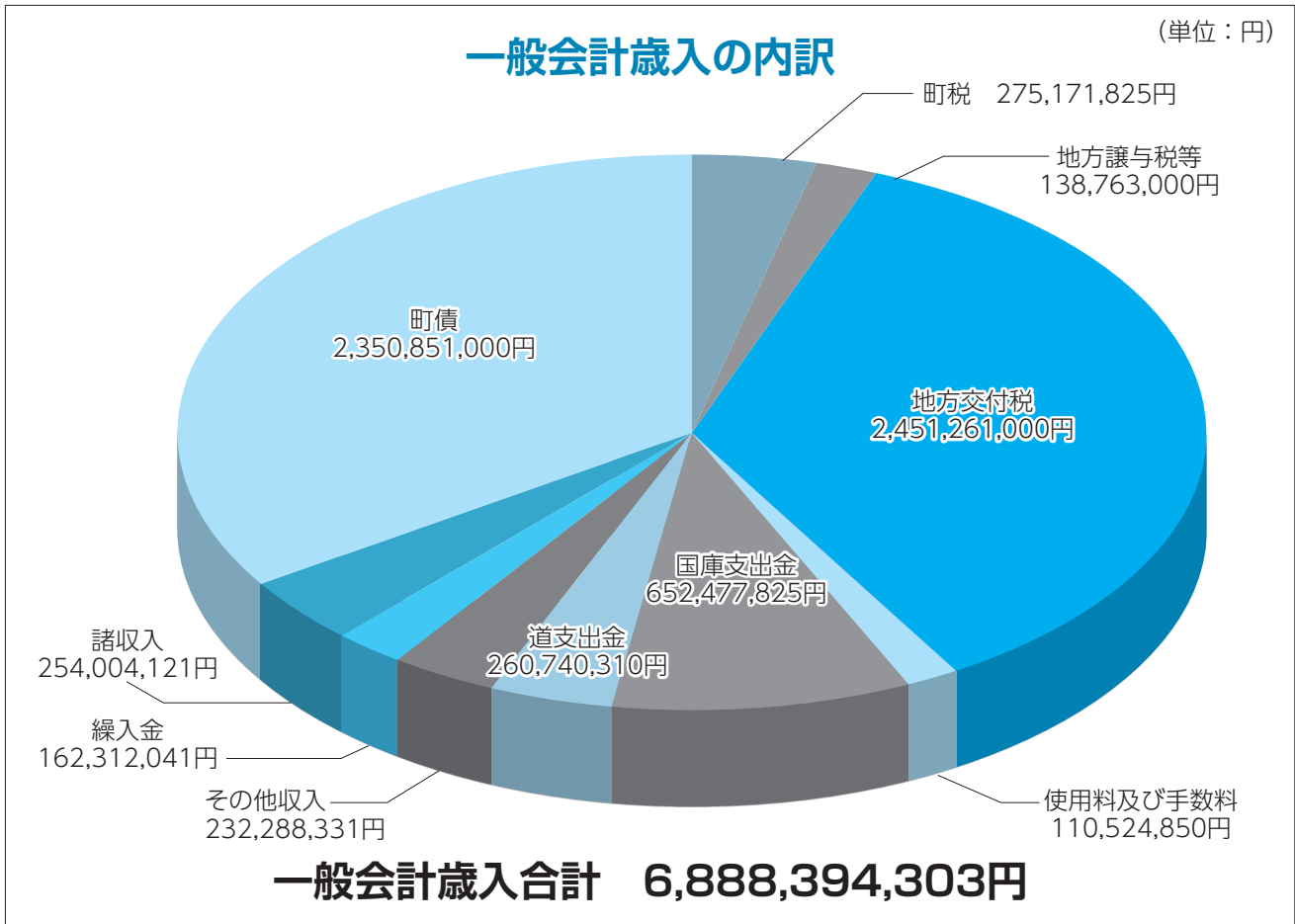
認定された令和5年度奥尻町各会計の決算並びに一般会計歳入歳出の内訳は、次のとおりです。

決算の認定

令和5年度 奥尻町各会計決算

(単位：円)

| 会計名 | 区分 | 歳入 | 歳出 | 差引残高 |
|-------------------|-------|---------------|---------------|--------------|
| 一般会計 | | 6,888,394,303 | 6,726,500,736 | 161,893,567 |
| バス交通事業特別会計 | | 59,442,860 | 59,321,215 | 121,645 |
| 自動車整備工場事業特別会計 | | 99,904,211 | 97,941,903 | 1,962,308 |
| あわび種苗育成センター事業特別会計 | | 28,852,652 | 28,852,652 | 0 |
| 国民健康保険事業勘定特別会計 | | 330,341,488 | 314,931,550 | 15,409,938 |
| 後期高齢者医療事業特別会計 | | 43,228,008 | 43,072,641 | 155,367 |
| 介護保険事業勘定特別会計 | | 267,632,203 | 255,097,302 | 12,534,901 |
| 介護保険サービス事業勘定特別会計 | | 22,934,139 | 22,934,139 | 0 |
| 簡易水道事業特別会計 | | 85,115,622 | 83,698,570 | 1,417,052 |
| 港湾施設用地造成事業特別会計 | | 10,588,986 | 10,385,838 | 203,148 |
| 公共下水道事業特別会計 | | 200,543,500 | 199,580,353 | 963,147 |
| 漁業集落排水事業特別会計 | | 137,597,077 | 136,247,431 | 1,349,646 |
| 国民健康保険 病院事業会計 | 収益的収支 | 741,407,741 | 737,159,081 | 4,248,660 |
| | 資本的収支 | 5,212,000 | 16,513,452 | △ 11,301,452 |



全道町村議会 議員研修会

7月2日、北海道町村議会議長会主催の「全道町村議会議員研修会」が札幌市のコンベンションセンターで開催され、奥尻町議会から議員7名が参加しました。

全道各町村から多くの議会議員が参集したこの研修会には、テレビでも活躍する気象予報士の森朗氏による「札幌が東京より暑くなる〜加速する気候変動〜」と題した講演と、元衆議院議長の大島理森氏による「人口減少と市町村の重要性・民主主義について自省を含めての所感」と題する講演がそれぞれ行われ、参加した議員は真剣に耳を傾けていました。

また、議員研修会前日の7月1日には、行政視察として、苫小牧市のサーモン加工大手「王子サーモン株式会社・北海道工場」へ視

察に訪れ、養殖から加工の工程、課題など様々な分野を見聞し、視察した議員は熱心に今後の奥尻町でのサーモン養殖へ向けての知識や参考としていました。



全道町村議会議員研修会



王子サーモン北海道工場視察



議会広報研修会



研修会後の広報編集特別委員会

議会広報研修会 〜議会広報の編集学ぶ〜

8月20日、北海道町村議会議長会主催の「議会広報研修会」が札幌市のポールスター札幌で開催され、奥尻町議会から広報編集特別委員である3名の議員が参加しました。

一般社団法人自治体広報広聴研究所の代表理事・金井茂樹氏から「読者に読まれる議会報の企画と編集」と題した講演等が行われ、読者が興味を持つ紙面作りや、各町村の議会だよりを例に細かなアドバイスを受け、今後の紙面づくりの参考としていました。

総務産業 常任委員会

8月16日に開催した「総務産業常任委員会」の概要についてお知らせします。

8月16日

住民課

令和5年度及び令和6年7月末までの町税等の収納状況について説明がありました。

令和5年度の現年分の収納状況は、ほぼ100%となっており、滞納分についても、分納誓約書を交わしており、人数も前年度から6名減の15名となっている。給与の差押えや不能欠損処理により、滞納分の整理を進め、滞納整理機構への引渡し者がなしとなったとの報告がありました。委員からは、固定資産税

の滞納件数が多い理由や滞納整理機構の負担金について質問があり、固定資産税については、使用していない建物の解体費用が多額になり、解体したくてもできない現状であることや、滞納整理機構への引渡しが無くて、負担金は発生すると回答がありました。

産業振興課

令和2年に被災した奥尻町製氷貯氷冷凍冷蔵施設の災害復旧状況について説明がありました。

建物共済金を充てて完全復旧をすると、多額の町費の持ち出しが必要な事、指定管理者も完全復旧は望んでいない点から、応急復旧の対応に留めるとの説明がありました。委員からは、建物共済金が復旧費用を十分賄えないことから、見直しが必要ではないかなどの意見が出されました。

第1回臨時会
9月30日

第1回奥尻町議会臨時会
は、9月30日に開会し、次
の事項について審議し、原
案のとおり可決しました。

専決処分

●令和6年度奥尻町一般会
計補正予算(第8号)

歳入歳出予算の総額にそ
れぞれ1427万7千円を
追加し、歳入歳出予算総額
を51億3745万6千円と
しました。

●令和6年度奥尻町簡易水
道事業会計補正予算(第3
号)

収益的収入に69万3千円
を追加し、総額1億311
7万2千円とし、収益的支
出に69万3千円を追加し、

総額7815万5千円とし
ました。

**補正予算
(一般会計)**

●令和6年度奥尻町一般会
計補正予算(第9号)

歳入歳出予算の総額にそ
れぞれ7017万7千円を
追加し、歳入歳出予算総額
を52億763万3千円とし
ました。

**条
例**

●「まなびじま奥尻」寄宿
施設設置条例の一部を改正
する条例

まなびじま潮風寮を用途
廃止するため、本条例の一
部を改正しました。

奥尻町議会のうごき

7月

- 1日 行政視察：王子サーモン北海道工場（苫小牧市）…議長・副議長・議員出席
- 2日 北海道町村議会議長会主催議員研修会（札幌市）…議長・副議長・議員出席

8月

- 16日 総務産業常任委員会
- 20日 北海道町村議会議長会主催議会広報研修会（札幌市）…議員出席
- 22日 檜山町村議会議長会定例会（せたな町）…議長出席
渡島檜山町村議会議長連絡会議（せたな町）…議長出席
- 30日 議会運営委員会

9月

- 3～4日 第3回奥尻町議会定例会
- 4日 決算審査特別委員会
議会運営委員会
広報編集特別委員会
- 8日 航空自衛隊三沢基地航空祭（青森県）…議長・副議長出席
- 30日 議会運営委員会
第1回奥尻町議会臨時会